

# 体験活動参加型＋講演会型＋在宅取組型（小学校）



学校名等	養老町立池辺小学校
実施日時	平成29年7月22日(土)
会場	池辺小学校 家庭科室
参加人数	食生活改善推進委員(6人)・保護者・教師(10人)・児童(8人)
学習課題(分野)	食育指導・親子クッキング・「きらり」見つけ
運営者の願い	「食」を通して、栄養分を配慮した食事の大切さを認識すると同時に、親子で一緒に料理をしたり食事をしたりすることを通して、子どもを理解するための子育ての一つの形態の提案を試みた。子どもにとっても、手際よく料理をする一部始終を見る機会はないため、食事を準備してもらうことのありがたさに気付くきっかけになる。食育と親子クッキングが、各家庭の食事の在り方、食卓を囲む時間の在り方の改善につながることを期待して取り組んだ。

## 学習の内容

### 親子クッキング

#### <開会>

家庭教育委員から、「きらり」を見つげながら活動することを伝えられ、今日の活動の目当てとして位置付けられた。

#### <食育指導・安全指導の講話>

「なすの原産国はどこ?」「ポテトチップス一袋はご飯の何杯分のカロリー?」等の楽しいクイズ形式で食育指導を受けた。子どもたちは、身近に食べ物について驚きとともに関心をもった。暑い時期の食中毒への対応や包丁の使い方等、安全についての指導を受けた。

#### <親子クッキング>

旬のものを使い、栄養分を配慮した献立で、子どもたちでもできるように配慮された4品を手順よく調理した。盛りだくさんの品数だったが、調理工程に工夫がされていたため、急ぐ必要もなく子どもたちが主体となって活動した。レシピも配布され、また作りたいという声も上がっていた。

#### <「きらり」見つけ>

活動の終わりに、学校が常時取り組んでいる「きらり」見つけ(よいこと見つけ)を位置付けた。親から子へは、「上手に野菜を切っていたね。」「『何かできることはない?』と考えながらできたね。」、子から親へは、「家でもこうやっているんだなと分かったよ。」などがあつた。お互いに「きらり」を伝えあつて終了した。

#### <閉会>

### 「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動



本活動は、夏季休業に入ってすぐの活動だったこともあり、「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動として取り組んだ家庭があつた。この実践をするにあたっては、「子どもに約束させるなら親も同じように約束して取り組もう」と意図して呼びかけられた。以下は、本活動とリンクして取り組んだ二つの家庭の具体である。

「今年の夏休みはこれをがんばるぞ!」(わが家の約束)として「ごはんを残さず食べよう!」とした家庭では、子どもは「好ききらいをしない」と設定、保護者は「食べやすいようにお料理するよ」と設定して取り組んだ。また、「ごはんの前に一つは仕事をする」とした家庭では、子どもは「おはしを並べる」、保護者は「時間通りに食事を準備する」と設定し、「みんなのために、きれいにおはしを並べたよ」、「〇〇のおかげでごはんの準備が素早くできたよ。ありがとう。小さくても、家族のためにできることがあるね。」と伝え合った。親子クッキングでの「きらり」見つけが継続されていた。



#### 第4回 在宅取組型 家庭教育学級 「話そう! 語ろう! わが家の約束」実践用紙

家庭教育を推進する日(毎月第3日曜日と「8」のつく日です。)

今年の夏休みはこれをがんばるぞ! (わが家の約束)

子どもが取り組むこと  
おはしを並べる。

親(保護者)が取り組むこと(サポート)  
ごはんの準備が素早く済むようにしてくれ。おはしを並べよう。おはしを並べたよ。

取り組み日  
7/28 7/30 7/31 8/28 /

〇のり組んだ家庭や参加への思いを書きましょう。  
子どもから家庭へのメッセージ  
みんなのために、きれいにおはしを並べたよ。

家庭から子どもへのメッセージ  
みんなのために、きれいにおはしを並べたよ。ありがとう。小さくても、家族のためにできることがあるね。

年 月 日 名 前 ( )



### 親も一緒に約束をする

「話そう! 語ろう! わが家の約束」に取り組むにあたり、子どもだけに約束を作らせるのではなく、親も子どもが設定した約束に関わって約束を設定することとした。子どもの約束が実行できるように、親サイドの約束づくりは、子どもの約束の実行につながり、児童の自己肯定感につながるよう取り組んだ。

